最速一段階カリキュラム

インプット編

弁理士試験合格のための徹底的な基礎知識習得

他の国家試験同様、弁理士試験も基礎知識がないと合格できません。平成30年度の短答本試験を例にとる と、合格者と不合格者で差がついた問題は、決して難しい問題ではなく、基本的な問題でした。基本講義で学 習することは、その基本問題でしっかりと得点を確保できるようにするために必要な知識です。インプット期に 習得した知識が弁理士試験合格のための土台となり、合格のために必要不可欠なものになります。

論文解法マスター編

ない論文作成を効率的にマス ターします。短答は正解が一つ ですが、論文は人それぞれに 解答があり、受験経験者でも 論文作成を苦手にしている方 が多数います。どのような答案 が、合格答案に近づくのか、そ の作成方法をマスターします。

何から手を付けていいかわから

論文の作成方法をマスター

アウトプット編 毎年的中する良質な答練・模試で実戦力を養成

いくら基礎知識があり、論文作成の方法を学んでも、問題演習を通じたトレーニングを積まないと得点力は伸 びません。弁理士試験に合格するためには、短答本試験では、原則65%の得点を確保する必要があり、論 文本試験では、受験生の上位25%以内に入る必要があります。その合格水準を満たすために、短答では絶 対に落としてはいけない基本問題をしっかりと得点し、論文では問われていることに対して、正確に論述する ことが弁理士試験合格の秘訣です。TACの厳選された問題演習を通じて、本試験が突破できるレベルの 実力を身につけます。

1年本科生入門付き 全93回

1年本科生 全87回

インプット

入門講義

全6回

初めて学習する方には、馴染みのな い弁理士試験の出題科目について、 法体系や各法域の関連性、条約と の関係などを学び、全体像をつかみ ます。この後のカリキュラムをより効 率良く進めるための学習ポイントを 学びます。

| ● 全体構造 | 11 | 1 |
|------------|----|---|
| | | |
| ● 特許・実用新案法 | 1[| |
| ● 意匠法 | 1[| ĺ |
| ● 商標法 | 1[| C |
| ● 条約 | 1[| į |
| ● 不競法・著作権法 | 1[| I |

1回の講義時間(途中休憩あり)

10

150分

使用テキスト

入門講義テキスト

充実した補助教材

全体構造編レジュメ

入門講義で配付されるレジュメです。法律 を初めて学習する方がイメージしやすいよ

う図解を豊富に取り入れています。

TACHUM 入門講義 第1回 配付レジュメ

インプット

基本講義

全50回

弁理士試験合格に必要なインプットをすべて網羅し、知識の土台を固める 講義です。体系編では、必要となる知識のフレームを作り、逐条編では、 その体系編で形成したフレームに条文ベースの知識を丁寧に入れていき ます。また逐条編では短答対策と論文対策を同時に学習できる短⇔論ハ イブリッド学習を実施いたします。

体系編

| 講義回数 | |
|------------|------------|
| ● 特許・実用新案法 | 8 - |
| ● 意匠法 | ·····2 💷 |
| ● 商標法 | ·····3 💷 |
| ● 条約 | ·····2 回 |
| ● 不競法・著作権法 | ·····2 回 |

1回の講義時間(途中休憩あり)

ELEMENTS 2 (意匠・商標) ELEMENTS 3 (条約・不・著)

充実した復習用教材

基本講義テキストELEMENTSから 重要なキーワードを抜粋した穴埋め 形式の復習用教材と学習した範囲 を復習できる一問一答式の復習テス トを配付いたします。講義範囲の重 要な論点を問題演習を通じて学習す ることができます。

| | 10.79 |
|--|--------------------------------|
| The second second second | |
| mar. | 10 sale |
| | |
| 7., | |
| M | And the second |
| | The second state of the second |
| | 5 |
| CONTRACTOR AND ADDRESS OF THE PARTY OF THE P | Access to the contract of |
| 55505 | Design Control of the Control |
| 717 | Daniel San Control |
| | |
| | 0.000 |

全17回

| 講義回数 | |
|-------------|-----|
| 持許・実用新案法 | 80 |
| 意匠法 | 2 □ |
| 商標法 | -3回 |
| 冬約 | -2回 |

使用テキスト

FI FMFNITS 1 (特·宝)

基本講義体系編 (復習用教材)

逐条編で学習した講義範囲から過 去に短答式で出題された枝別の問 題集(過去問を厳選)を配付いたしま す。枝別になっているので、講義でイ ンプットした知識が過去問でどのよう に問われているか、 難易度はどれくら いなのかを学習初期に把握すること

| The same of |
|--|
| Name of Contract o |
| AND IN COLUMN |
| SEASON STREET, |
| The second second |
| The second of |
| |
| _ |
| _ |
| _ |

逐条編

全33回

1回の講義時間(途中休憩あり)

其木譿盖テキスト涿条編 (性・宝)

基本講義テキスト逐条編(意匠・商標)

基本講義テキスト逐条編(条約・不・著)

充実した復習用教材

体系別短答式

枝別過去問題集

-- 12回

5回

7回

-4 □

--5回

◆特許・実用新案法・

● 不競法・著作権法・

使用テキスト

● 商標法

冬約

論文解法 マスター講義

全5回

論文本試験特有の出題パターン を分析し、各パターンに応じた論 文作成テクニックをマスターする 講義です。「何をどのように記述 していくか」の段階からはじめ、 最終的にはどのような出題パター ンにも対応できるようにする講義 です。

| 全範囲 | | | | ·5 🗆 |
|-----|------|------|------|------|
| | | | | |

1回の講義時間(途中休憩あり)

150分

使用テキスト

論 立解法マスター講義テキスト

充実した補助教材

論文解法マスター講義 補助レジュメ

趣旨や判例、審査基準などの各法域 の重要論点をまとめたレジュメです。論 文解法マスター講義をご受講した後、 復習できる大変好評な教材です。



アウトプット

短答基礎答練

全5回

基本的なレベルの実践トレーニング を実施し、本試験レベルの問題を解 くための準備をするための講義で す。基本的なレベルの問題を実際に 解き、今まで積み上げてきた知識を 実践の場でうまく活用できるように するためのトレーニングの場です。

| 11134—X |
|---------------|
| 特許・実用新案法1回 |
| 意匠法1 回 |
| 商標法1 回 |
| 条約1 回 |
| ▼ 不競法・著作権法1 回 |
| |

問題演習90分+休憩10分+解説講義50分

問題・解答解説冊子(5冊)

アウトプット

短答応用答練 全6回

短答本試験と同じ五枝択一形式で法域 ごとに実施します。本試験もしくはそれ より少し高いレベルの問題を、本試験よ り速いスピード(本試験は3.5時間で 60問〈1問あたり3分半〉に対し、短答 応用答練は2時間で40問(1問あたり3 分〉)で解くことで、実践力を養います。

| 0133%—>X | |
|------------|----|
| ● 特許・実用新案法 | 20 |
| ● 意匠法 | |
| ● 商標法 | |
| ● 条約 | |
| ● 不競法・著作権法 | |
| | |

問題演習120分+休憩10分+解説講義50分

使用教材

問題・解答解説冊子(6冊)

アウトプット 短答的中答練

全4回

短答本試験と同じ五枝択一形式 で出題も全範囲に拡大し、実施し ます。短答本試験同様の多彩な 出題形式を取り入れ、本番形式に 慣れるとともに、時間内に解答の 取捨選択できるような実践力を養 います。短答本試験に近い難易 度の問題や応用力が問われる問

講義回数

● 全範囲 --4 - □

題も取り入れています。

1回の講義時間

問題演習120分+休憩10分+解説講義50分

使用教材

問題・解答解説冊子(4冊)

短答式全国公開模試

アウトプット

全3回

本試験同様の実施時間・実施形 式で実施する模擬試験です。同じ 志を持った質の高い集団の中で 自分の位置・レベルを確認するこ とができます。また、TACの全国 公開模試は本試験での『的中』 が続出する質の高い模擬試験と なっています。 詳細はP20~21

講義回数・1回の講義時間

● 全範囲 … ··· 3回 12:30~16:00 問題演習210分 解答解説講義90分(Web配信のみ)

問題・解答解説冊子(各3冊)

アウトプット

論文式全国公開模試 全2回

本試験同様の実施時間・実施形 式で実施する模擬試験です。同じ 志を持った質の高い集団の中で 自分の位置・レベルを確認するこ とができます。また、TACの全国 公開模試は本試験での『的中』 が続出する質の高い模擬試験と なっています。 詳細はP20~21

講義回数・1回の講義時間

● 全節囲 10:00~17:00 (随時休憩あり) 特許・宝田新室法120分 意匠法90分 商標法90分 解答解説講義120分(Web配信のみ)

※使用教材は予定です。変更になることもございますので、予めご了承ください。

問題・解答解説冊子(各2冊)

アウトプット

論文基礎答練

全3回

基本的なレベルの実践トレーニングを実施し、本 試験レベルの問題を解くための準備をするための 講義です。基本的なレベルの問題を実際に解き、 今まで積み上げてきた知識を実践の場でうまく活 用できるようにするためのトレーニングの場です。

● 特許•実用新案法 1回 ● 意匠法 1回 ● 商標法 1回

問題演習60分+休憩10分+解説講義80分

問題・解答解説冊子(3冊)

アウトプット

論文応用答練

全9回

論文本試験で問われる知識、答案構成力等、これまでに身につけた力をすべて使って、論文 本試験と同等レベルの問題に繰り返し挑戦し、答案作成力を本試験合格レベルに引き上げ ます。問題文を通じて、出題者の意図を読み取る力、解答に記載すべき内容を判断する力、 結論までの筋道を組み立てる力を確立し、論文本試験合格に必要な論述力を養います。

● 特許・実用新案法 3回 ● 意匠法 3回 ● 商標法 3回

問題演習120分+休憩10分+解説講義50分(特・実) 問題演習90分+休憩10分+解説講義50分(意匠・商標)

問題・解答解説冊子(9冊)

(割引制度・申込方法など)